

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和2年 4月 1日

事業所名 クオリティオブライフ中丸支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			学習室とダンスをするスペースが分かれているのが良いと思う。
	② 職員の配置数は適切であるか	○			配置数は適していると思います。しかし、ダンスのできる職員が常駐してなく、児童一人に対し職員がつかなくてはいけない場合があった際には職員が足りないと感じてしまうこともある為、職員を増やせるといいと思う。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関から段差になっており、スロープの設置もない。バリアフリー化はしていないが、利用者が安全に過ごせる環境づくりを作っている。
業務改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年一回の評価表と個別支援のアンケートだけでは意向の把握はできない為、日頃から保護者様と送迎時に話をするように心掛けている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価は行ってないが今後行っていけると良い。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	○			一昨年に比べ研修を受ける機会はコロナ禍の為少なくなったが、受講できる機会があった際には積極的に参加している。
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	○			他業務で職員の出入りが多く直接意見交換をする機会が少ないものの共有の支援に対する記録（ノート）を残していることでアセスメントや保護者ニーズに対する対応が出来ていると思う。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		標準化されたアセスメントツールはどういったものなのか分からないが、クオリティとしてのアセスメントは行っている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		担当を決めて行っているが、チームで話し合っていない。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	○			活動プログラムというよりも内容を工夫している。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			カリキュラムの内容について担当ごとに目的などを設定しているが全体周知はしていない。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援について話し合う時間が少なかったと思う。時間の確保をどうするか今後の課題。
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		一日の流れを把握できているときとできていないときがある為、開始前に流れの周知、確認を行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎後に保護者からの伝達や本日あった出来事は共有している。当日に打ち合わせまでは行えていない。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			指導中に記録は取っています。支援の検証・改善につなげようと努力している。今後も職員間で情報を共有いしながら取り組んでいきたい。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			奇数月に1回はモニタリングを行い、見直すようにしています。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○			
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		相談支援事業所のサービス担当者会議に参加したことは無い。	
㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校から連絡が入ることが多く情報共有できている。分からないときにはこちらから聞くことや送迎の際には行事の確認もしている。	

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療的ケアが必要な利用者はいないが今後利用となる場合は主治医等との連携をしていく。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所より丁寧な情報を上げてきているおかげでスムーズな情報共有が出来ている。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		卒業生がいましたが情報の提供をしている。
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	今までに専門機関との連携はしたくない。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか		○	今年はコロナの影響もあり行っていない。
	㉕	協議会等へ積極的に参加しているか		○	都合が合わず、現状は参加出来ていない。そもそも機会が少ない。コロナの影響で参加できていないが機会があれば参加したい。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングとしての支援まではできていないが保護者様の悩みや療育について管理者が進んで相談に乗り寄り添うことが出来ている。
保護者への説明的責任等	㉘	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用開始前には管理者が説明を行っている。
	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様の悩み等は都度相談に乗っているが助言と支援については適切かどうか不安に思うことがある。更なる研修が必要と思われる。
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナの影響で難しい部分はあるが状況を見ながら開催できるようにしたい。昨年はフェイスガードを使用し行えた。内容については検討する必要がある。
	㉛	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情の無いように努めている。苦情に対しては迅速かつ適切に主任、管理者が対応している。
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		クオリティだより、カリキュラムの案内等でできていると思う。「なまかる通信」を12月まで出していた。
	㉝	個人情報に十分注意しているか	○		
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		言葉に気を付けて行っている。
非常時の対応	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	コロナ禍では難しかった。
	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	保護者様への周知はやや不安がある。
	㊲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	○		研修を継続し、教室職員みんなで虐待の知識を持ち、今後も気を付けていく。
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		教室では身体拘束を行うような利用者がいない。
	㊵	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	㊶	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットの報告書を教室職員に回し、確認している。